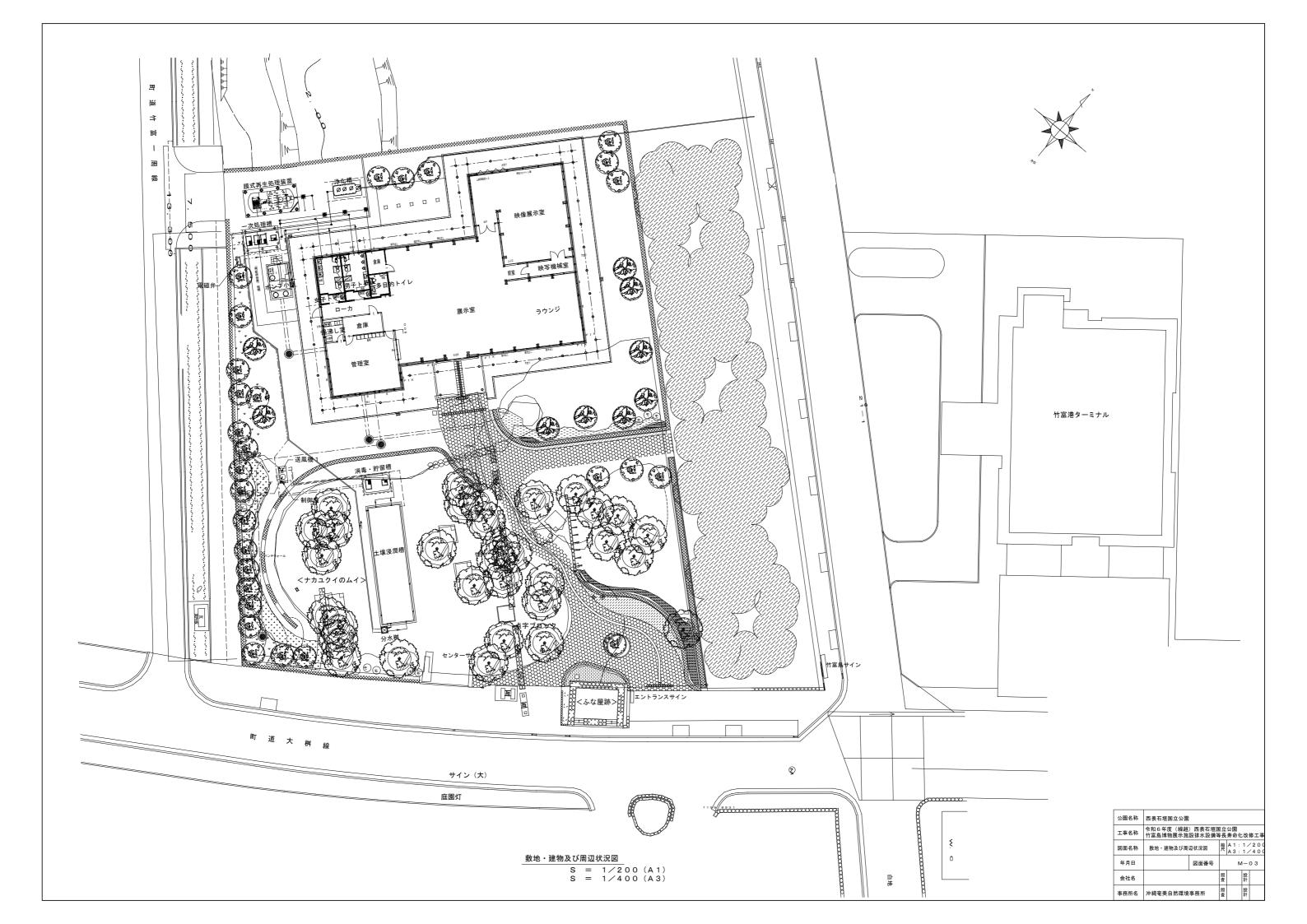
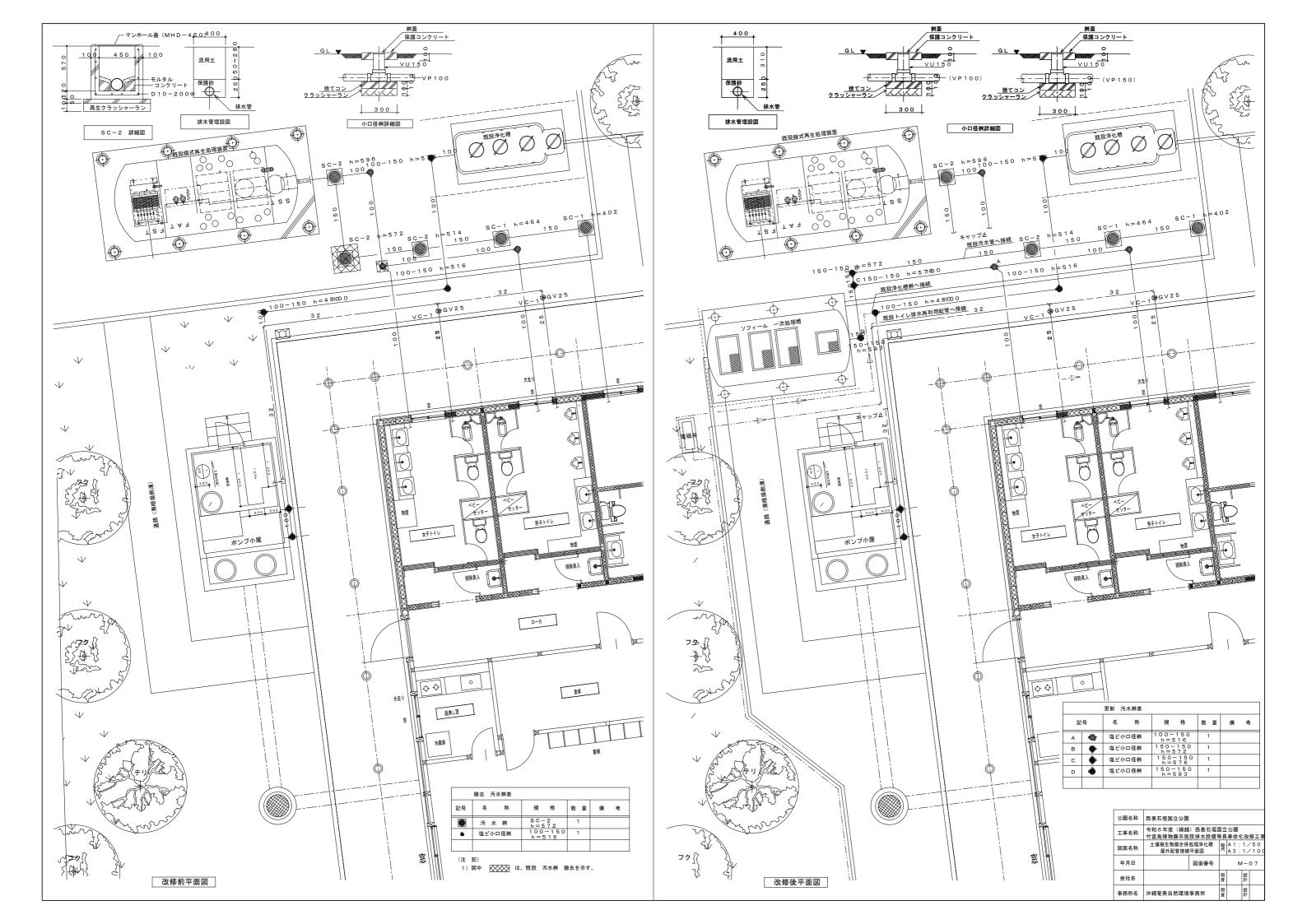
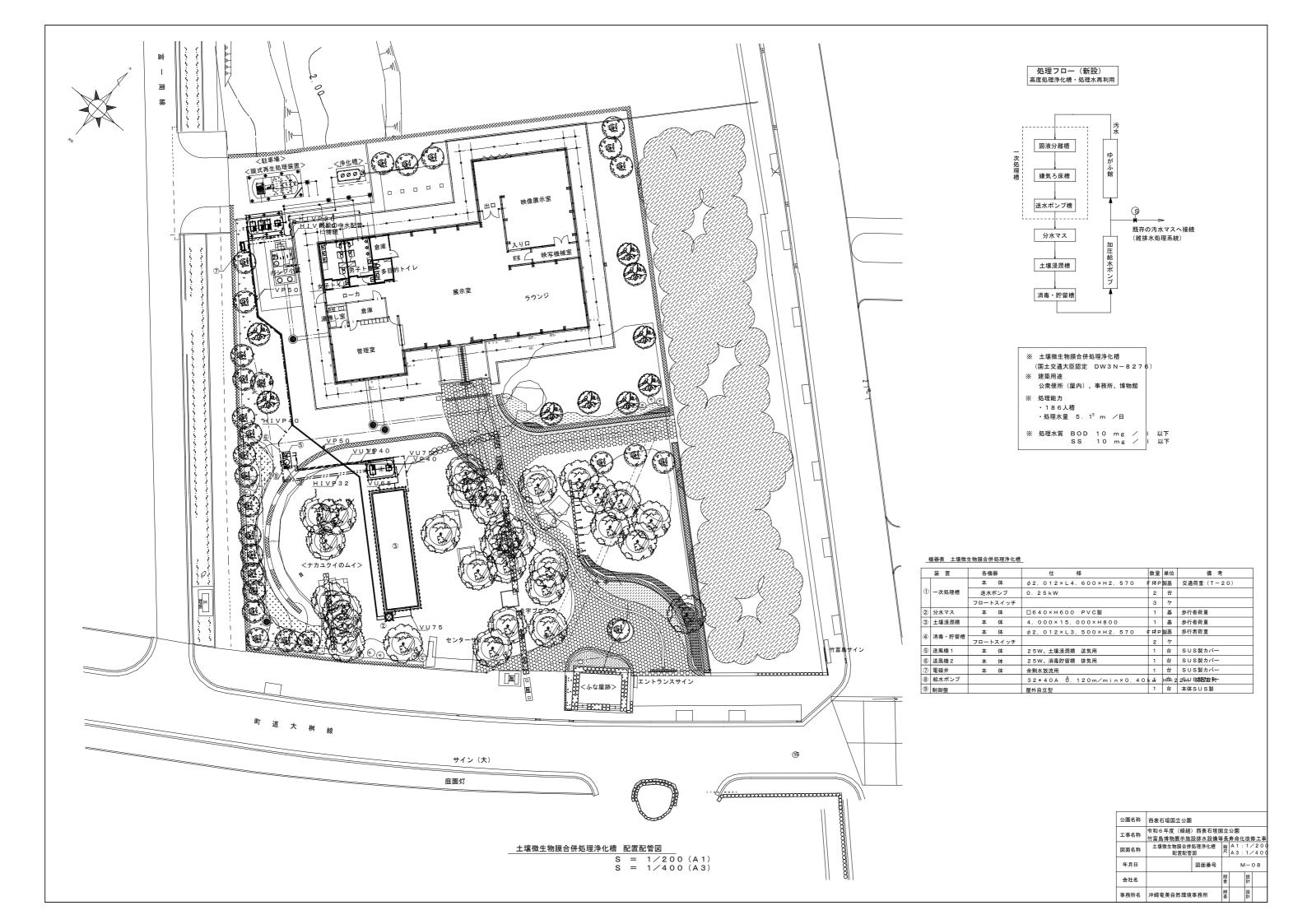
<b>幾械設備工事</b>		● 機材の品質等	(1) 本工事に使用する材料・機材等は、設計図書に定める品質及び性能の他、通 ************************************	〇保 温	○ 多湿箇所は下記による。	● ○ 自動洗浄装置 及びその組み込み 衛	○ 個別感知フラッシュ方式 ( )
工事概要	機械設備工事仕様書(その1)		常有すべき品質及び性能を有するものとする。 (2) 別表 - 1に機材等名が記載された製造業者等は次の①から⑥すべて事項を満たすものとし、この証明となる変共又は外部機関が発行する品質及び性能等		室名: ○ 共同溝内の保温種別は下記による。 ダクト: 配管:	中   中   上   日   日   日   日   日   日   日   日   日   日	O A C電源 O 自己発電 O
1. 工事場所 沖縄県八里 	重山都竹富町		が評価されたことを示す書面を提出して監督職員の承諾を受ける。ただし、 製造業者等名が記載されているものは、証明となる資料等の提出を省略する ことができる。	〇 金属管の塗装	次の露出配管は、塗装又は記載の仕上げとする。 ○屋外: 〇ドレン管 (〇指定色塗装 〇 ) )	器 電源種別具 ○衛生器具ユニット	○ 別図による
建物名称 構 道	延 ペ 面 横(m) 別表第一の区分		①品質及び性能に関する試験データを整備していること。		〇金属電線管 (〇溶融亜鉛メッキ仕上げ [付着量300g/㎡以上] 〇指定色塗装		(1) 一般配管 ● 水道用耐衝撃性硬質ポリ塩化ビニル管
竹富博物展示施設 木造	1F 627.32 (8)項 改修		②生産施設及び品質の管理を適切に行っていること。 ③安定的な供給が可能であること。 ④法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること。	〇 既存躯体への穿孔	牙扎候様を使用し取付驱停に穿孔9 の場合は、並周採知により电源供給が停止できる 付属性実生も用いて拡工する	給	○ (2) 地中埋設配管
	627. 32		⑤製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。 ⑥販売、保守等の営業体制を整えていること。	〇天井仕上区分	( )書きの室名は直天井を示し、その他は二重天井を示す。	水   設	(3) 水道直結配管 O 引き込みは水道事業者の指定により、量水器以降の地中埋設面 (O)とし、他の部分は(1)による。
3. 工事種目(●印の付いたもの		〇施 工 調 査	事前調査 〇 本工事 〇 別途 調査内容	〇 他工事又は他工種 との取り合い	図面に特記なき場合は、工事区分表による。	備	○ 親メーター ( ○ 現地表示式 (直読式) ○ 遠隔表示式 ( ○ 電文式 ○ パ ( ○ 貸与品 ○ ) ○ アメーター ( ○ 現地表示式 (直読式) ○ 遠隔表示式 ( ○ 電文式 ○ パ )
工事種目	庁舎屋外		調査項目 〇 既存資料調査 調査範囲 〇 図示 〇	〇 電 線 類	電線及びEMケーブルは標準仕様書第4編1.5.1表4.1.11による。	〇量 水器 桝	( ○ 買取り ○ ) ○ 水道事業者指定品 ( ○ 貸与品 ○ 買取り) ○ 標準図MC形
〇空気調和設       〇換気設       〇排煙設	備		調査方法 ○ 図示 ○ ○ はつり工事及び穿孔作業を行う場合は、事前に走査式埋設物調査を行い、監督職員に報告を行う。 ただし、走査式埋設物調査で埋設物の調査ができない場合は、監督員との協議による。	〇〇設計温湿度	外 気 屋 内	● 弁 類	○ 図面に特記なき場合の耐圧は 5 K とする。 ○ ステンレス鋼管に取り付ける弁類は、ステンレス製とする。
〇自動制御設       〇衛生器具設	· 備	●足場その他	○ 別契約の関係受注者が定置したものは無償で使用できる。	空気	一般系統   一般系統   個別系統 (目標値)   温度  温度  温度  温度  温度  温度  温度  温度  温度    夏季  32.9  ℃88.4  %28  ℃  45%   ***  ℃  %   ***  ℃  %	〇水 栓 柱	〇 水道直結部分の耐圧は、10Kとする。 〇
● 給 水 設 ● 排 水 設 ○ 給 湯 設	備		● 本工事で設置する。 「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同 ガイドラインの別紙 「手すり先行工法による足場の総立て等に関する基準」に	調 の鋼板製煙道	冬季     13.     1 1 3 4 .     2 961 9 ° C     4 0 9 9 ° C     96 ° C     96       鋼板厚( 〇 3 .     2 sm  〇 4 .     5 sm)	● 管の地中埋設深さ	埋設深さ (管の上端深さ) は原則として、車両通行部分は ( ● 600 mm O comb O mm) 以上とする。
〇消     火     設       〇厨     房     設	備		おける2の(2)手すり据置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。  ● 内部足場( B種 脚立、棚足場) ○ 外部足場( ○ 種 ○ 種)	和しずケト	○ 低圧ダクト ( ○ コーナーホ <sup>*</sup> ルト工法 (長辺の長さが1,500mm以下の部分) ○ アンケ <sup>*</sup> ルフランジ・工法)	〇建築物導入部	<ul><li>○ 建築物導入部の変位吸収方法は、標準図(建築物導入部の変位吸収配管要領 )によ</li></ul>
○ ガ ス 設 ○ 仮設工事 ● コンクリートエ事	備	〇養 生	既存部分の養生は、改修標準仕様書第1編3章による。	備	O スパイラルダクトダクト(O 低圧 O ) ○ 高圧 1 ダクトとする。(範囲は図示による。)		( O (a) O (b) O (c) ) O別図による。
<ul><li>● 据付工事</li><li>● 二次側電気工事</li></ul>		● 埋め戻し土・盛土	<ul><li>● 根切り土の中の良質土 (コンクリート管、樹脂管)</li><li>以下の配管は、管の周囲に山砂の類を施す。</li></ul>	Oチャンバー	(1) 内貼を施すチャンバーの表示寸法は外法を示す。 (2) 空気調和機に取り付けるサプライチャンバー、レタンチャンバー及びダクト系で消音内貼り	〇引込納付金等	
● 撤 去 工 指定部分 ○ 無 ○ 有 範囲:		<ul><li>● 建設発生土の処理方法</li></ul>	<ul><li>○ 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 (SGP-VD)</li><li>○ 構内敷きならしとする。</li><li>●構外敷出通切処理 搬出先は別途協議により定める。</li></ul>		したチャンパーには、点検口を設ける。なお、大きさは図示による。 (3) 外壁に面するガラリに直接取り付けるチャンパー及びホッパーは雨水の滞留のないように施	● ● 配 管 材料排	(1)屋内 汚水管 〇 難排水管 〇 適気管 〇
設備概要(●印の付いたもの)		〇施 工 図 等	本工事で作成する施工図等のうち、次の原図及びその複写図(1部)を監督職員に		<b>エする</b> 。	水	ホ°ンフ°アッ20 管 (2)屋外 第一桝まで ● 硬質ポリ塩化ビニル管
方式及び種別 空 調 方 式 〇 主要熱源機器 〇	設 備 概 要		提出する。ただし、製作図等で原図として提出ができないものは、原図に代わるものとしてよい。 のとしてよい。 なお、施工図等の著作権に係る当該建築物に限る使用権は、発注者に移譲する。	○ダンパー	(1) 助煙ダンパー 復帰方式 遠隔復帰式(定格入力はDC24V、0.7A以下とする) (2) ピストンダンパー 復帰方式 遠隔式	備	<ul><li>● 硬質ボリ塩化ビニル管</li><li>桝間</li><li>● 硬質ボリ塩化ビニル管</li></ul>
自動制御方式 ○ 電	気式 ○ 電子式 ○ デジタル式 置タンク方式 ○		機器製作図 一式、制御システム図 一式 試験成績書 一式、機器・配管固定の施工図 一式	〇配 管 材 料	(1) 蒸気管 給気管 O O 返管 O	〇台所流し等の 排 水 管	洗面器に直結する排水管は、器具トラップより1サイズアップとする。 台所流し等の床上露出部分の配管は、ビニル管(RF-VP)でもよい。 大便器、小便器、洗面器及び掃除流しとの配管は、ビニル管(RF-VP)とする。
紹 水 万 式 建物内	内の汚水と雑排水 ( ○ 合流式 ● 分流式)	● 完 成 図 等	● 完成図提出要 (原図サイズ ● A 1 、 複写図 部、 C A D データ ( ● 要 ( 部) Q 不要))		(2) 油管 O (3) 冷温水管 O	〇满水試験継手	入快器、小快器、沈幽器及び相除派しとの配管は、 ヒール官 (RF - VP) と9 る。 図示の位置に取り付ける。
排水/ 排水槽 建物外	7排水 ○ 有り( ○ 汚物 ○ 離排水 ○ 湧水) ● 無 書 ○ 有 (計画容量 m 3 ○ 無 ↑放流先 またなったを		CADデータが優の場合、オリジナルファイルも提出する。 ● 既存完成図 (CADデータ) の修正を行う。 ● 保全に関する資料		(4) 冷却水管 O (5) ドレン管 (6) 膨張管・空気抜き管及び膨張タンクよりポイラー等への補給水管は、配管用炭素銅鋼管(白)	〇放流納付金等	○ 要 (○本工事( ) ○別途) ○不要
消火設備 〇屋 回	汚 水 ○ 直放法下水管 (2) 雑排水 ○ 直放法下水管 内消火投設備 ○ スプリンクラー設備 ○ 泡消火設備		A 4 ファイル綴じ 部 ○ 建築物等の利用に関する説明書		とする。	〇 〇配 管 材 料	0
ガスの種類 び 都は	市ガス( 種別 13A、高位発熱量45.0MJ/m3(N)、低位発熱量40.6MJ/m3(N 供給圧力 Pa、最初ス選管事業者を東東方ス博) ※改修の場合は既存概要を示す	● 機材の承諾図	A 4 ファイル綴じ 部 機械設備工事機材承諾図様式集 (平成 2 8 年版) によるほか、監督員の指示による。	〇 弁 類		給 〇 弁 類湯	○ 図示による。(特配なき場合の耐圧は、 5 K とする。) ○ ステンレス鋼管に取り付ける弁頼は、ステンレス製とする。
工 事 仕 様		● 総合試運転調整	<ul><li>◆ 本工事</li><li>○ 別途</li></ul>		O ファンコイルユニットと冷温水管の接続部(往・還)には、ボール弁を取付ける。	設 備 ○保 温	温沸器の給排気筒 (二重管) の隠ぺい箇所は保温を行う。なお、保温の種別は標準仕様 第2編3 1.5表2.3.5のト・(イ)・)及とする。
<ul><li>共通仕様</li><li>(1) 図面及び本特記仕様書</li><li>等のうち、●印の付い</li></ul>	まに記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の下記標準仕様書 いたよの本海用せる		調整項目(測定箇所等は監督職員の指示による。)  ■ 風量調整 ○ 水量調整 ○ 室内外空気の温湿度の測定 ○ 室内気流及びじんあいの測定 ○ 騒音の測定 ○ 飲料水の水質の測定	〇油面制御装置	制御壁には( ○ 絡油ポンブ制御 ○ 返油ポンブ制御 ○ 漏えい検知警報 ○ 鴻油警報 ○ 鴻油警報 ○ 鴻瀬警報 ○ 遠隔警報 ○ 遠隔警報 ○ 遠隔警報 ○ はいます。 「日本の記憶を繰れる。なお、フロートスイッチ部と 制御盤間の配管を繰れる強連者体長とする。		<b>第2編3. 1. 3次2. 3. 50/11・(1)・IAC y Q</b> 。
<ul><li>● 公共建築工事標準</li><li>● 公共建築改修工事</li></ul>	仕様書(機械設備工事編)(令和 年版)(以下「標準仕様書」という。) 標準仕様書(機械設備工事編)(平腐 1年版)(以下「改修標準仕様書」という。)	〇電 動 機	○ 雑用水の水質の測定 ○ 接気扇、圧力扇及び標準仕様書に記載なく特記のないものの電勤機の保護規格は、	〇 保温及び消音内貼	標準仕様書第2編3. 1. 4によるほか、次による。 〇 蒸気蒸り管の保温不要(原内露出は除く。)	○○配管材料	(1)屋内消火栓 一般 〇 地中 〇 (2)連結送水管 一般 〇
	標準図 (機械設備工事編) (平成 1年版) (以下「標準図」という。) 豪工事を本工事に含む場合は、電気設備工事及び建築工事はそれぞれの特記仕様		製造者規格による標準品としてよい。		○ 遺気ダクトの保温要 (保温の厚さ25mm、範囲は図示による。) ○ 外気ダクトの保温要 (保温の厚さ25mm、範囲は図示による。)	火	地中 O (3)
	の特記仕様書は( / )図、建築工事の特記仕様書は( / )図による。	〇電源周波数 〇容量等の表示	50Hz/60Hz (1) 機器類の能力、容量等は表示された数値以上とする。		<ul> <li>○ 膨張管及び膨張タンクよりポイラー等への補給水管の保温は、標準仕様書第2編3、1.4の温水管の項による。</li> <li>○ 建物件のエア空気抜き管の保温は、標準仕様書第2編3、1.4の温水管の項による。</li> </ul>	設   〇屋内消火栓種別 備	O 広範囲型2号消火栓 ○ 3易操作性1号消火栓 ○ 1号消火栓 ○ 2号消火
項目及び特記事項は、●印の付	付いたものを適用し、〇印の付いたものは適用しない。 特 記 事 項		(2)電動機出力、燃料消費量、圧力損失等は、原則として表示された数値以下と する。		(エア抜き弁以降の配管は除く。) 〇 空気調和機、ファンコイルユニットの排水管の保温は、標準仕様書第2編3.1.5	○ 屋内消火栓開閉弁	010K
	建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の算定には次の条件を用いる。  フ 風圧力	● 耐 震 措 置	耐震措置の計算及び施工方法は次によるほか、建築設備耐震設計・施工指針2014年版(独立行政法人 建築研究所整修)による。		の接水管の項による。 ○ 冷媒管の保温外装は次による。 ○ 図示による	○ 地中埋設配管の接合 ○ 保 温	外面被覆鋼管の呼び径 100 A 以下はねじ接合とする。 〇 屋外露出部分 〇 有 ( 〇 e 2 ・ (ハ) ・ 頃 〇 ) ○ 無
	風速 (Vo= m/s) 地表面粗度区分( ) ) ) 積 響荷 重		(1) 機器の据付け及び取付け 設計用水平地震力は、機器の質量(自由表面を有する水槽その他の貯槽にあっては有効質量) に、地域保数1.0及び水に示す設計用標準水平震度を集じたものとする。		○ 屋内露出箇所     ( ○       ○ 屋外露出箇所     ( ○   )	〇 不活性ガス消火設備	別図による。
●環境への配慮 (1	建設省告示第1455号における区域 別表 ( ) 1) 本工事において、「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律(平成12年法律第100	,	に、地域味知 I. U及び水に示すのATM体率水干服後を来したものとする。 設計用標準水平震度	● Oダ ク ト	○ 低圧ダクト ( ○ コーナーホ <sup>*</sup> ルトエ法 (長辺の長さが 1, 5 0 0 mm以下の部分) ○ アンク <sup>*</sup> ルフランシ <sup>*</sup> 工法)	〇泡消火設備	別図による。
	号)」に基づく「環境物品の調達の推進に関する基本方針(平成31年2月期額決定)」に定める 特定調達品目の分野「公共工事」の品目を調達する場合は、判断の基準等を満たすものとする。		機器種別 ○特定の施設 ●一般の施設 重要機器 三級機器 要要機器 三級機器 上層階 機器 2:0 1.5 1.5 1.0	換気	○ スパイラルダクトダクト( ○ 低圧 ○ ○ 高圧 1 ダクト( 範囲は図示による。) ○ 高圧 1 ダクト(範囲は図示による。) ○ 厨房未続の排気ダクトは、標準仕様書第3編2. 2. 2. 2. 2のダクトの板厚の項より	○ 機器の寸法 厨房	概略寸法とする。
	2) 建築物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の①から④を満たすものとする。		屋上及び 防振支持の機器 2.0 2.0 2.0 1.5 塔屋 水 槽 類 2.0 1.5 1.5 1.0 機 器 1.5 1.0 1.0 0.6	設備。	1番手厚いものとする。 (範囲は図示による)	房 ○ 機器の機能等 (備	図示による。
	②台紙、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード その他の木質達材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩痛材、断熱材、塗料、仕上塗材は アセドアルデヒド及びスチレンを発散しない又は発散が極めで少ない材料で、設計図書に規定		中間階 防振支持の機器 1.5 1.5 1.5 1.0 水 槽 類 1.5 1.0 1.0 0.6 機 器 1.0 0.6 0.6 0.4	備 Oダンパー		〇 〇配 管 材 料	都市ガス 一般ガス導管事業者の供給規定による。     ○ 親メーター ( ○実測式 ○パルス式 )( ○ 貸与品 ○ )
	する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。		地階・1階   防振支持の機器   1.0   1.0   1.0   0.6	ダクトの系統	O 空気調和設備の当該項目による。	ス   設   備	○ 子メーター ( ○実測式 ○パルス式 )( ○ 買取り ○ )
	②接着剤及び塗料は、トルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。 ③接着剤は、可塑性(フタル酸ジーn-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシル等を含有しない		<ul> <li>上層階とは2~6階建の場合は最上階、7~0階建の場合は上層と際、10~12階建の場合は上層3階、13階以上の場合は上層4階とする。</li> <li>中間階とは地隙、1階を除く条限で上層階に該当しないもの</li> </ul>	〇 年 ヤンパー	空気調和設備の当該項目による。  〇 全熱交換ユニット用の外気ダクトの保温の仕様及び範囲は図示による。	○ガス漏れ警報器	○ 本工事 (図示による) ○ 別途工事 外部警報端子 ○ 無 ○ 有)
	難揮発性の可塑剤を除く)が添加されていない材料を使用する。		<ul><li>・水槽類にはオイルタンクを含む。</li><li>・重要機器は次による。</li></ul>		○ 全熱交換ユニット用の排気用ダクトの保温の仕様及び範囲は図示による。 ○ (○厨房 ○満沸室)の隠ぺい部ダクトの保温の仕様及び範囲は図示による。		
	②①の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類は、ホルムアルデヒド、アセドアルデヒド及びスチレンを発散しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。		(名称: 記号: ) (名称: 記号: ) (名称: 記号: ) (名称: 記号: )	0 0 % 7 ト	○ 重鉛鉄板 ○ 普通鋼板 (厚 1. 6 mm)		
(1	3) 設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分において、「規制対象外」とは次の ①又は②に該当する材料を指し、同区分「第三種」とは次の③又は④に該当する材料を指す。 ①建築基準法施行今第20条の7第1項に定める第一種、第二種及び第三種ホルムアルデヒド 免散建築材料以外の材料		(名称: 記号: ) (2) 設計用鉛直地震力は、設計用水平地震力の1/2とする。	排の排煙口の形式	○ パネル形 ( ○ 天井取付 ○ 望取付)     ○ スリット形 ( ○ 天井取付 ○ 望取付)     ○ ダンパー形 ( ○ 天井取材 ○ り		
(2)	②建築基準法施行令第20条の7第4項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料 ③建築基準法施行令第20条の7第1項に定める第三種ホルムアルデヒド発散建築材料	〇地中埋設標等	(1) 地中埋設標 ○ 要(図示による) ○ 不要 (2) 埋設表示テープ ○ 要(排水管を除く) ○ 不要	○ 排煙口開放及び	〇 電気式 (遠隔操作 〇 要 〇 不要)		公園名称 西表石垣国立公園
(4	②建築基準法施行令第20条の7第3項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料 4) グリーン購入法に基づく、環境物品等の調達に関する基本方針((以下「基本方針」という)(環境省ホームページに掲載)(毎年2月改定))において位置づけられた、「特定調達品目」に該当する材料及び建設機構等は、原則として基本方針に定める判断基準を満足するものを使用すること	〇配 管	(1) ステンレス鋼管の接合は、下記による。         〇 呼び径60Su以下 ( 〇 SAS 322を満足した概要 )         (2) 溶接部の非破壊検査     〇 不要	復 帰 方 式 〇排煙風量測定	建築設備定期検査業務基準書平成 2 0 1 6 年版 ((一財)日本建築設備・昇降機センター) の排煙風量の検査方法に準じる。		工事名称
<u>ځ</u>	とする。 なお、やむをえず判断基準に満たないものを使用する場合は、監督職員の承諾を受けるものとする。	〇 絶 縁 継 手	図示の位置に取り付ける。	O システム構成その他 自 動 O 悪気針共用取締	別図による		年月日 図面番号 M
	また、「特定調達品目」の調達の実績(設備及び公共工事)について、当該年度の調達実績集計表 (物品・役務及び公共工事)を環境省ホームページからダウンロードし、Excelファイルで作成し	○試験		割 ○ 電気計装用配線 細	電線及びEMケーブルは標準仕様書第4編1.5.1表4.1.11による。 屋外・屋内露出の電線は、図面に特記がなければ金属管配線とする。		会社名

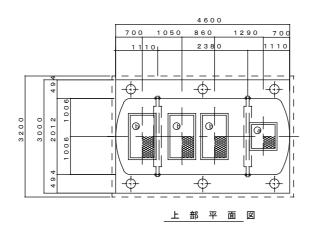
		I
〇保 温 材	保温材は、配管・ダクト等より分離する。	
〇支持金物等	ダクト及び配管等の支持金物及び吊り金物は本工事にて撤去する。	
〇石綿含有品	石綿 含有分析調査 〇 本工事 〇 別途	
	撤去方法 〇 図示による 〇	
●発生材の処理	<ul><li>● 金属類 (○機器類 ○ダクト ○配管 ● その他の金属 )</li><li>(○物品管理者に引き渡し ● 構外搬出適切処理 )とする。</li></ul>	
	○ 特別管理産業廃棄物 (○ ○ ) の処理 (○ 別途 ○ 構外搬出適切処理 )とする。	
	○ 石綿含有産業廃棄物(○ 配管用成形保温材 ○ フランシ 用力)	の処理は
	( ○ 別途 ○ 構外搬出適切処理 )とする。  ■ 上記以外のもの ( ○ ○ ○ ) の処理	ild
	( ○ 別途 ● 構外搬出適切処理 )とする。	
〇 冷媒 クロン類) の 回 収		
	により、次の書類を監督職員に提出する。	
	<ul><li>○ フロン回収行程管理表の写し</li><li>○ 特定家庭用機器廃棄物管理票(家電リサイクル券)の写し</li></ul>	
表-1	品目機材等名	
	1	

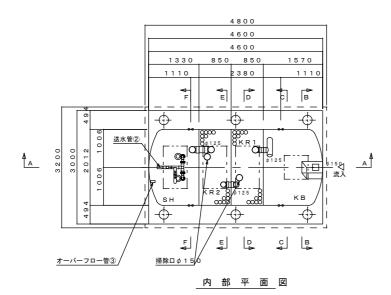


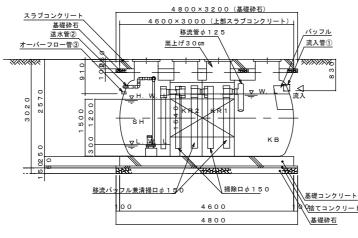


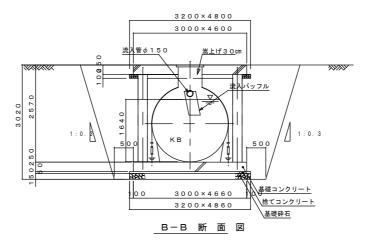


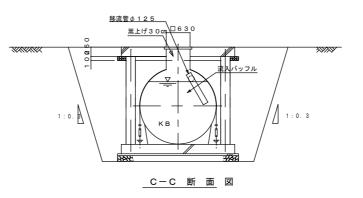
## 一次処理槽

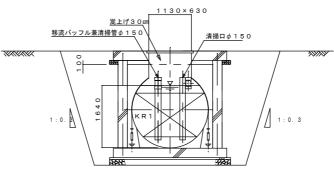












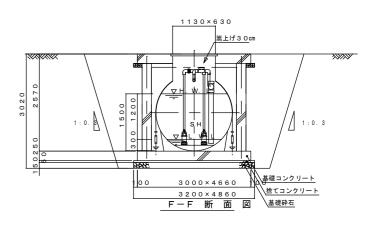


清掃口 φ 1 5 0

EーE 断 面 図 基礎砕石

嵩上げ30cm

移流パッフル兼清掃管 ø 1 5 0



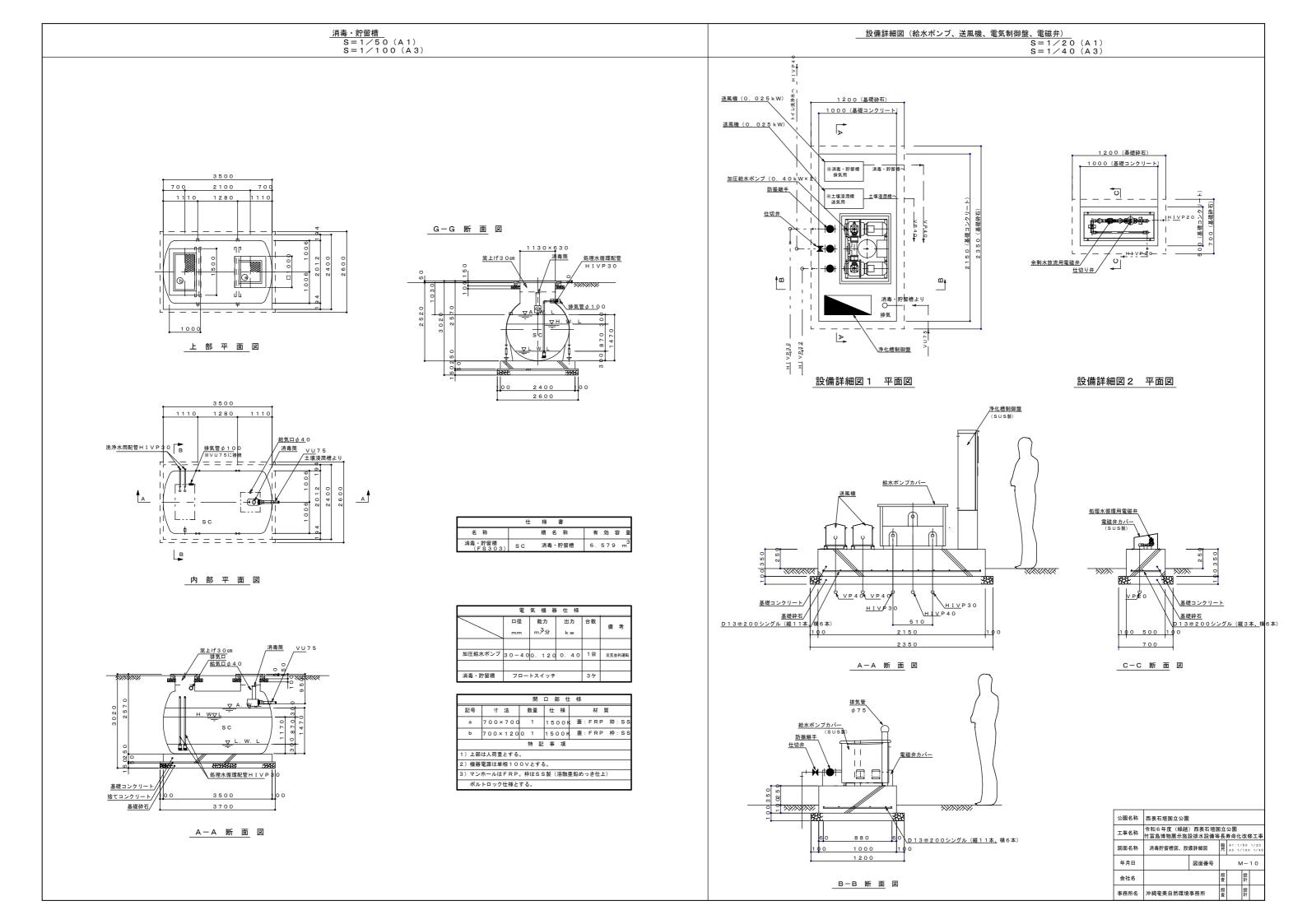
配管	口径表
1	φ150
2	V P 5 0
3	V P 5 0

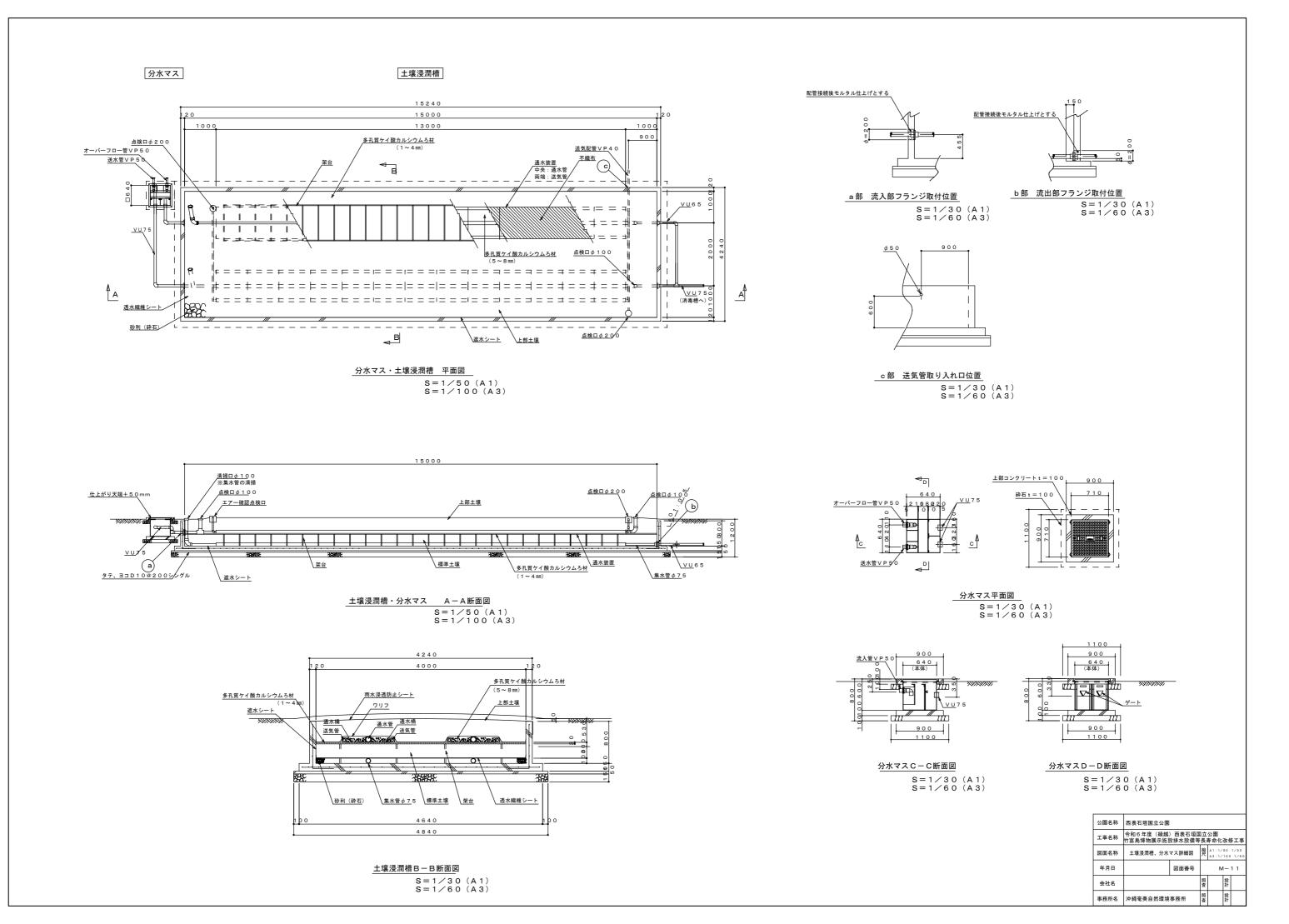
	仕	様 書			
名 称		槽 名 称	有	効 容	율
一次処理槽	KB	固液分離槽	3.	977	"3 m
(F312)	KR1	嫌気ろ床槽第1室	2.	3 4 3	m <sup>3</sup>
	KR2	嫌気ろ床槽第2室	2.	3 4 3	,3 m
	SH	送水ポンプ槽	2.	7 1 9	3 m

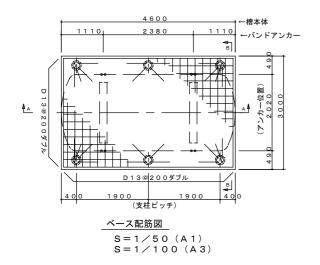
	電	気 機 器	士 様		
	口径	能力	出力	台数	備考
	mm	m <sup>3</sup> 分	k w		Nes -c2
送水ポンプ	4 0	0.15	0. 25	2台	
加圧給水ポンプ	3 0	0.070	0.40	1台	単独交互運転
送水ポンプ槽	フロー	トスイッチ		3ケ	

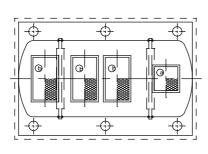
開口部仕様										
記号	寸 法 数量 仕 様 材 質									
а	700×700 1 2500 蓋:鋳鉄 枠:SS									
b	700×1200 3 2500K 蓋:鋳鉄 枠:SS									
	特 記 事 項									
1) 上部	は交通荷重(Tー20)とする。									
2) 機器電源は単相 100V / 200Vとする。										
3) マン	3) マンホールはFRP。枠はSS製(溶融亜鉛めっき仕上)									
ボル	ボルトロック仕様とする。									

公園名称	西表石垣国立公園						
工事名称	令和6年度(繰越)西表石垣国立公園 竹富島博物展示施設排水設備等長寿命化改修工事						
図面名称	一次処理槽図		縮尺	A1: A3:		/50 /100	
年月日		図面番号		N	1-	0 9	
会社名			照査		設計		
事務所名	沖縄奄美自然環境事務所				設計		

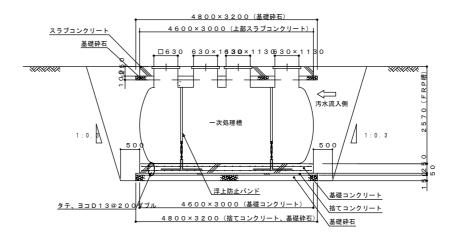




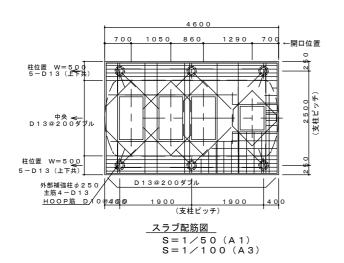


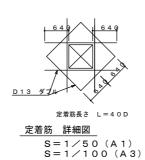


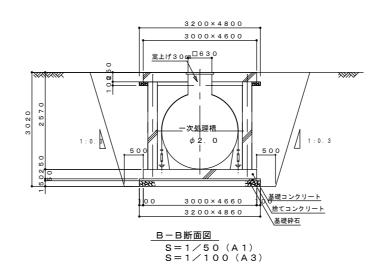
\_スラブ平面図

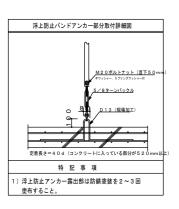


<u>A-A断面図</u> S=1/50(A1) S=1/100(A3)







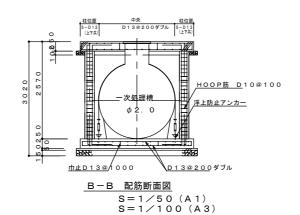


共	通仕様
基礎コンクリート強度	: F C = 2 1 N/mm <sup>2</sup>
捨てコンクリート強度	: FC=18N/mm <sup>2</sup>
使用鉄筋	: SD-295A
定着長サ	: 40d (dハ鉄筋径)
カブリ厚サ	: ベース 6 0 mm以上
	: スラブ4 0 mm以上

	特	記	事	項				
<ul><li>地下水位がある</li></ul>	場合	は別	途検	討を	要す	る。		
・施工を行う場合	t.	現地	高さ	確認	を行	うこ	٤.	
・スラブコンクリ・	-	の端	部は	面取	りを	する	こと。	
・槽周辺を砂質土 数回に分けて入					めも	しく	l‡	

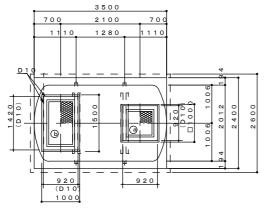
	D13@200ダブル	
3020 2570 (h*±1f 300mm) 2320 2320 2320		外部植強柱 φ 2 5 0 主筋 4 − D 1 3 HOOP筋 D 1 0 @ 1 0 0
4 0 0		ア上防止アンカー
	\$ <del>7</del> , 3⊐D13	1-D13
	A-A 配筋断面図	
	S=1/50 ( S=1/100	

	開口 部 仕 様								
記号	寸 法	数量	仕 様	材質					
а	700×700	1	5000K	蓋:鋳鉄	枠:SS				
b	700×1200	3	5000K	蓋:鋳鉄	枠:SS				
		特	記事	項					
1) _	上部はT-	2 0荷	重とする。						
2) -	マンホール	は鋳鉄。	枠はS	S製					
7	ボルトロック仕様とする。								
3) [	図中の G.	Lは処3	理槽位置:	での仕上げ	レベルを示す				

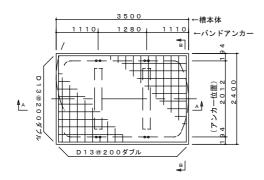


公園名称	西表石垣国立公園								
工事名称	令和 6 年度(繰越)西表石垣国立公園 竹富島博物展示施設排水設備等長寿命化改修工事								
図面名称	一次処理槽 詳細	縮尺	A1: A3:						
年月日		図面番号		N	1-	1 2			
会社名			照査		設計				
事務所名	沖縄奄美自然環境	照査		設計					

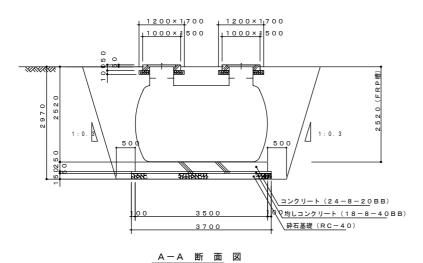
消毒・貯留槽



<u>上 部 平 面 図</u> S=1/50(A1) S=1/100(A3)



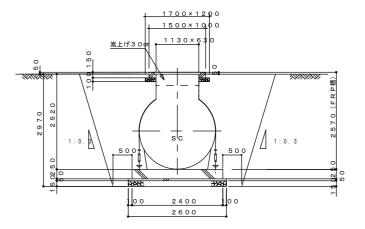
ベース配筋図 S=1/50(A1) S=1/100(A3)



S=1/50 (A1) S=1/100 (A3)

記号 寸 法 数量 仕 様 材 質 a 700×700 1 1500K 蓋:FRP 枠:SS b 700×1200 1 1500K 蓋:FRP 枠:SS 特 記 事 項 1)上部は歩行者荷重とする。 2)マンホールはFRP製。枠はSS製ポルトロック仕様とする。
b 700×1200 1 1500K 蓋:FRP 枠:SS 特 記 事 項  1) 上部は歩行者荷重とする。 2) マンホールはFRP製。枠はSS製
特 記 事 項  1) 上部は歩行者荷重とする。 2) マンホールはFRP製。枠はSS製
<ol> <li>上部は歩行者荷重とする。</li> <li>マンホールはFRP製。枠はSS製</li> </ol>
2) マンホールはFRP製。枠はSS製
ボルトロック仕様とする。
3) 図中のG. Lは処理槽位置での仕上げレベルを示す

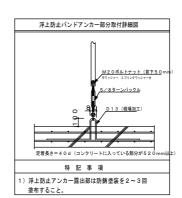
開口部仕様



 B-B 断 面
 図

 S=1/50 (A1)

 S=1/100 (A3)



<b>直 仕 様</b>
: FC=21N/mm <sup>2</sup>
: FC=18N/mm <sup>2</sup>
: SD-295A
: 40d (dハ鉄筋径)
: ベース 6 0 mm以上
: スラブ 4 0 mm以上

特 記 事 項
・地下水位がある場合は別途検討を要する。
・施工を行う場合は、現地高さ確認を行うこと。
・スラブコンクリートの端部は面取りをすること。
・槽周辺を砂質土で埋め戻す。水締めもしくは
数回に分けて入念に突き固める。

公園名称	西表石垣国立公園						
工事名称	令和6年度(繰越)西表石垣国立公園 竹富島博物展示施設排水設備等長寿命化改修工事						
図面名称	消毒貯留槽 詳細図		縮尺	A1: A3:		´50 ´100	
年月日		図面番号	M-13				
会社名			照査		設計		
事務所名	沖縄奄美自然環境事務所		照査		設計		

